

樋野先生“64歳誕生日”を記念して
OCC カフェスタッフ 田口 謙治

万座温泉日進館で3月7～8日に開催された「がん哲学外来 in 万座温泉」に参加しました。冒頭のミュージカル「人生ピンチヒッター ～空っぽの器～」では練習の成果が発揮され、大成功でした。素人ながら全員がベストを尽くした結果、樋野先生も「涙がこぼれそうになった」と言われた程の出来栄で、当日の館内放送で集まれた一般の方々も、口々に「良かった!」と言っておられました。

また、樋野先生の講演会は「脇を甘くして付け入る隙を与え、懐の深さを示して感動を与える」を体現する素晴らしいものでした。その結果、翌朝の「シオンの泉」で開催されたカフェには興味を持たれた一般の方々が多数出席され、有意義な時間となりました。

さて、関係者が互いに協力してミュージカルを演じた事に触れましたが、私の大先輩から「人間関係」についてお聞きした事を、この場でお分かちさせて頂きたいと思います。その方は、夫婦を例に次のようにお話しされました。

「夫婦は身近なのに相異なるから素晴らしい。夫婦をピアノとバイオリンに例えると、音色も性質も音量も全く異なる。この二つが協奏する場合、バイオリンが主旋律、ピアノが伴奏になるが、主従の関係に見える中でも互いの音を聞き合い、時に譲り合う事で両者の音色が際立つ。そして単独楽器では到達できない美しいハーモニーが生まれる」と。

夫婦と言わずとも、カフェで共に過ごす時、各々が活かされ、互いの配慮で美しいメロディーが奏でられますように……。

人生ピンチヒッター “ 空っぽの器 in 万座”
ながれやまカフェスタッフ 春日井いつ子

「ながれやまカフェ」を開所して1年、密度効果抜群?の楽しいカフェです。こんな小さなカフェに野澤和之監督からの取材要請は意外でした。樋野先生から紹介されたとの事で、がん体験者の快諾に助けられ丁寧な取材インタビュー内容になりました。監督ご自身も大腸がんの手術をしたばかりのお体です。その野澤さんの熱い想いは、雪解けまだ遠い万座日進館へと場所を移し、がん哲学外来ミュージカルへと繋がった訳です。樋野先生の構想の一つである「万座をメディカルビレッジ」に、その一端としてがん哲学外来を題材とした劇をするお話でした。

遡ること3か月前から寝る間を惜しんで練習を重ね、各地のカフェスタッフ関係者と本番に減法強い日進館の若き益荒男との合同チームにより、素人役者軍団がいつしか地方回りも出来る?ほどの「樋野いなか一座」に変わっていきます(笑)。出演予定だったリハビリ中の友の思いも載せて……。

劇のナレーション担当の私は舞台上から先生のお顔が見えました。初めこそ照れ笑顔でしたが次第に真顔になり、核心部分の迫真の演技には涙無くして語れないご様子。先生の愛唱歌・四季の歌に「冬を愛する人は心広き人 根雪を溶かす大地の様な僕の母親」とありますが、折しも3月7日は先生の64歳の誕生日。早朝、島根のお母様からお祝いの電話があったそうです。先生ここでも涙無くして…、です。樋野先生を手ぶらで帰す訳には行かないと力が入った合同チームですが、逆に先生から個性を引き出して頂き、思い出のメダルを掛けて頂きました。

樋野先生、日進館の皆様、がん哲学外来映画製作委員会の方々に心から御礼申し上げます。今後も各地のカフェ代表者スタッフは「空っぽの器」を用意し、ビタミン愛でお返し致します。

樋野先生 誕生日記念会 -がん哲学外来in万座温泉-

3月7日 18:00~20:00 参加無料
日進館3F大会会場

ミュージカル「人生ピンチヒッター ～空っぽの器～」
Origin of fire

万座温泉 日進館にて樋野先生誕生日記念会を開催決定!
特別公演:ミュージカル「人生ピンチヒッター ～空っぽの器～」
参加方法:日進館への要約を事前にお届けください。お振込にて当日日進館までお越しください。当日、お振込済みの方優先で観覧券を配布いたします。東京から万座までのお帰りのバスも運行しておりますので乗降一歩お世話いたします。

※記念会への参加は無料でございますが宿泊費、資料費は別途お支払いとなります。

樋野 先生
1953年3月7日 島根県松江市。一般社団法人がん哲学外来、健康工房、健康工房大学医学部附属病院、健康工房、2008年 がん哲学外来 開設。がん哲学外来の発展に尽力されています。現在、がん哲学外来の発展に尽力されています。

「人生いばらの道、されど宴會」

3月7日 日進館3F大会会場
樋野先生講演会
開催:日進館にて
時間:20:00~21:00分

3月8日 10:00~12:00
がん哲学外来カフェin万座温泉
入場料無料・定員60人 編者:シオンの泉
お申し込みは不要です。当日会場にお越し下さい。

